

卷之三

沢田研一、瞳みのる、森本太郎、岸部一徳。ザ・タイガースの元メンバーや4人が顔をそろえた「コンサート・ツアーワーの最終公演が催された。1月24日の武道館、かつて彼らが解散コンサートを行った同じ日、同じ場所である。デビューフロントの彼らが京都会館でのアマチュア・コンテストで優勝をもたらした思い出の曲、ザ・ビートルズの「ミスター・ムーンライト」で始まつたコンサートは、3曲目のザ・ローリング・ストーンズの「タイム・イ

国際日本文化研究センター准教授
磯前順一
森本のハーモニカも懐か
そして、最大のサプライズは病氣療養中の岸部

か。
今回、タイガースの元メンバーたちは、4人が再度集うことになったとき、新曲は一切作らず、かつての若き日々の曲だけ「ンサートを繰り返す。今までの曲で、その解のもとでの決定だったと聞く。その思いには、今回のツアーに参加せずに、一人でタイガースの曲を歌う。それでも、それの思いを胸に「タム・イズ・オン・マイ・サイド」を力強く演奏するのである。

ときめく力を今一度：

トより
う受けた上で、もう一
度かつてのよき人生に
対してとまゆく気持を私
たちに取り戻させようと
その音楽を通して誘つて
いたが、かくての
曲目をそのままに演奏す
る」といふのがかえつて現
年間、日本の社会そのも

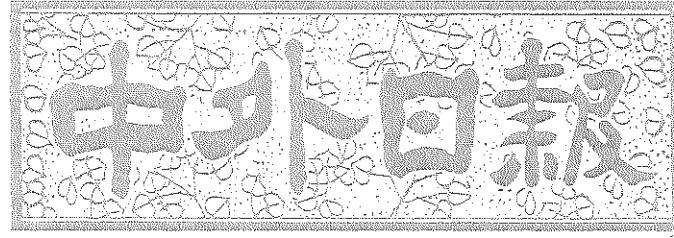
寄稿

四郎の登場であつた。兄弟たる背後にも老いか追徳に支えられてステージの中央に進み、椅子に身をあずけた四郎は、身体の不自由さと闘ひながら、会場の温かい声援につづいて、ついに再認識され、田に録音されたメンバーのものとなつた。そして、作曲の曲「坊や祈つておれ」が、今回も高音部の大ヒット曲「花の首飾」のコーラスを欠いたまま、解散から約40年といふ長い歳月の流れの中、歌われるとき、彼の脱

タイカースを脱退した当のるが戻つて来てくれたきない。しかし、いま田に録音されたメンバーにせよ、私たちが若い日度、ときめく心は取り戻せるものと、そのまま戻れるものす」とが、できるはずである。未来が不確かなものであつたがゆえの、自分

たのかもしれない。だから成する方針を決めたといふこと、タイガースの元メンバーたちは、1月24日の武道館という聖なる記憶の空間に再びファンたちを招集することで、自分たちの老いというもあつたことをも悽然とさせ、コンサートを事实上締めくくった曲が、41年前の武道館でファナーレを飾った後期の代表曲「ラヴ・ラヴ・ラヴ」であつたことによる秘密がある。

卷之三



発行所
株式会社 中外日報社
©中外日報社2012

本社 〒601-8004 東京本社 〒113-0033
南区東九条東山王町9 東京都文京区本郷4-9-13
電話 (075)671-3211(代) 電話 (03)3816-4721(代)
FAX (075)671-2140 FAX (03)3811-5222
<http://www.chugainippoh.co.jp>
Eメール henshu@chugainippoh.co.jp

Digitized by srujanika@gmail.com